

救急だより

ピーポー



編集・発行／さつま町消防本部

〒895-1816 さつま町時吉 366 Tel 52-0119 Fax 53-0119

Web <http://119.satsuma-net.jp/>

E-mail shobo@satsuma-net.jp

発行 平成 30 年 9 月



そばにいる人が突然倒れたり、家族や友人が突然具合が悪くなったりしたとき、あなたは
どうしますか？

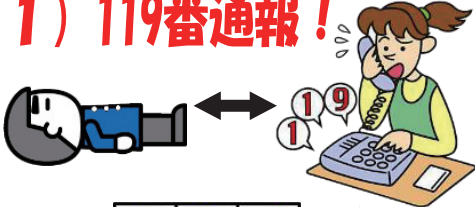
近くの人に助けを求めたり、119番通報をして、救急車を呼んだりしますよね。

でも、119番通報したときや救急隊が到着してから、「なぜ、そんなことまで聞くの？」
とか、「なぜ、すぐに運んでくれないの？」など、疑問に思うことも多いはず。

今回は、救急要請（通報）から病院へ収容するまでの救急活動にスポットを当ててご紹介
いたします。



1) 119番通報！



①「火事ですか。救急ですか。」
(救急です。)

②「場所はどこですか。」
(〇〇地区〇〇番地です。)
※屋外の場合は、近くの目標に
なるものを伝えてください。

③「どうされましたか。」
(意識がありません。)

④「お名前と電話番号を覚えて
ください。」

※これまでと同じ!!

※119番通報の重要な3項目!

- ①「救急であること！」
 - ②「救急車が向かう場所！」
 - ③「種別（急病、ケガ）と状態（症状）！」
- このほか、通信員が必要な事項を尋ねます
ので、それにお答えください。

到着まで
平均 約9分!
(平成 29 年 救急統計から)



2) 出動!



通報時の追加点

次の点を考慮して、救急車を出動させたあとに現場状況や傷病者の状態など、
さらに詳しくお聞きする場合があります。

- ① **ドクターヘリ、ドクターカーの要請**
要請の判断基準となる「キーワード」を確認します。
- ② **心肺蘇生法や止血などの指導**
命が切迫している状況では、心肺蘇生法などの要領を電話口で指導します。

確認する内容の一例

①「さつま町救急隊の〇〇です。
どのようにして意識がなくなったんですか。」
(急に胸が苦しいと言い出して、倒れました。)

②「(病院に行くような) 病気はありますか。
また、入院や手術をするような病気をした
ことがありますか。」
(高血圧と不整脈があります。それと、
1年前に〇〇病院で心臓の手術をしました。)

③「かかりつけの病院がありますか。」
(〇〇クリニックに行っています。)

④「薬を飲んでいますか。
お薬手帳があれば、お借りできますか。」
(〇〇クリニックから薬をもらっています。
お薬手帳はこちらです。)

活動内容と確認する理由

① 発症時の状況をお聞きしながら、
傷病者の観察とバイタルサイン(意
識・呼吸・脈拍など)を確認します。

② 既往症などは、病態の判断や病院
選定を行う際の重要な情報となり
ます。

③ 観察状況によっては、かかりつけ
医に相談して搬送先を決めること
もあります。

④ 家族などが傷病者情報を把握して
いない場合、お薬手帳の情報から既
往歴などを確認することもできます。



(裏面へ続く)

(表面からの続き)

- ⑤ 「観察した結果、心疾患が疑われますので、専門治療の対応できる△△△△市の〇〇病院へ連絡しようと思いますがよろしいですか。」
(わかりました。お願いします。)
- ⑥ 「家族（関係者）の方は、救急車へ同乗をお願いします。
保険証や飲んでいるお薬なども持参ください。」
(わかりました。
私たちは、自家用車で向かいます。)
- ⑦ 「お名前、住所、生年月日、電話番号を教えてください。」
(〇〇太郎、さつま町〇〇、〇〇番地、
平成〇年〇月〇日生まれ、
電話〇〇-〇〇〇〇です。)
- ⑧ 「食べ物やお薬などのアレルギーはありますか。
あと、最後のお食事はいつですか。」
(花粉症と、たまごアレルギーがあります。
夕食は、18時30分頃食べました。)

- ⑤ 現場で収集した情報を総合的に判断して、搬送すべき病院を選定します。この際、専門性の高い治療が必要と判断した場合、町外医療機関への受入要請やドクターヘリなどを要請する場合があります。
- ⑥ 病院では、関係者に対し直接情報を聞きたいと言われる場合が多いため、可能な限り同乗をお願いします。
自家用車をご利用の場合、救急車への追走は出来ません。
交通ルールを守りましょう!!
- ⑦ 病院での診療情報（カルテ検索）を確認する際に必要となります。
- ⑧ 病院で処置や薬などを使う場合の大切な情報となります。

4) 搬送!

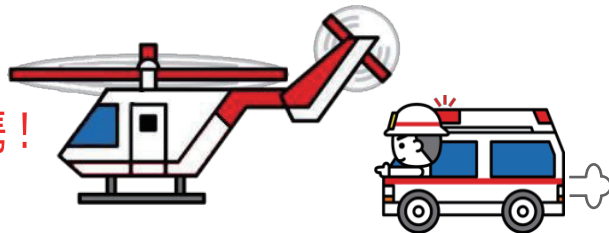
覚知から病院到着までの平均時間

さつま町内	約 35 分
薩摩川内市内	約 50 分
鹿児島市内	約 75 分

(平成 29 年 救急統計から)

ポイント!!
緊急性が高いと判断したら・・・
現場や救急車内において**特定行為（気管挿管、輸液ほか）**などの応急処置を行います。

※特定行為は、関係者等に対し実施する処置内容を説明して同意を得なければ、処置を行うことが出来ません。



※ドクターヘリとの連携!

※ドクターカーとの連携!



ポイント!!
より早い医師との接触を目指して!!

119番通報の内容や、現場の救急隊により「専門性の高い治療が必要」と判断した場合、ドクターヘリやドクターカーを要請して、重症患者に対するより早い医師との接触を図ります。

5) 病院へ収容!



救急隊は、医師や看護師などに、傷病者・家族等から聞いた情報を伝え、病院に傷病者を引き継ぎます。

救急車を呼ぶ前に考えよう

救急車の適正利用にご協力ください!

救急車は無料だから



交通手段がない



どこの病院に行けばいいかわからない



優先的に診てもらえる

